



3.9

2030 年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。

麻酔法の工夫で環境汚染を減らし、 環境保全に貢献する

医療における麻酔薬として、全身麻酔の導入・維持に使用する吸入麻酔薬は、大気汚染の原因になります。また集中治療における人工呼吸や鎮静などさまざまなニーズで使用される静脈麻酔薬も使用時の残液は廃棄するため、破棄する残量によって、ゴミを増やし、環境破壊へとつながります。

麻酔法の改良、工夫に関する研究や安全な廃棄法について検討することが SDGs の推進につながると考えます。



鎮静薬は油成分のものもあり、排水溝に捨てると菌繁殖も考えられる。我々は以前、液体を固めて捨てる廃棄法を考えた。

message

単に掲げるだけでなく、自分がどう行動するかが大事と聞きました。ターゲットに研究が結びついていないところもありますが、臨床という仕事のなかで活かせる場面も多々あることに気づきました。それを実践します。

大下 修弘

歯学部

歯科麻酔学講座